

| | | | | | |
|--------------|----------------|------|-------------------------------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 助産学概論 | | |
| 単位（授業時間/時間数） | 1（12/15） | 授業回数 | 6回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 専任教員 | 講師所属 | 福岡水巻看護助産学校 | | |
| 特記事項 | 実務経験のある教員による科目 | | 臨床（病院）での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう | | |

科目目標

助産の概念や母子保健の動向を学び、助産師の職務について理解する。

授業目標

1. 助産の起源や変遷を通して助産の概念を理解する。
2. 助産に関する法律を理解し、助産業務と責務について理解する。
3. 母子保健の動向や諸制度を理解する。
4. 女性のライフサイクルにおける性と生殖に関する健康問題について理解する。

授業内容

1. 助産の概念
 - 1) 助産の概念
 - 2) 助産に関係する概念
2. 助産師と倫理
3. 母子保健の動向
 - 1) 母子保健の歴史
 - 2) 母子保健の動向と諸制度
4. 助産の歴史と文化
 - 1) 古代から江戸時代までの助産の変遷
 - 2) 明治～昭和時代の助産の変遷
5. 助産師と教育
 - 1) わが国における助産師教育
6. 助産技術とは
7. 助産活動を支える理論・技術の基本
8. 女性のライフサイクルにおける性と生殖に関する健康問題と援助

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座1 基礎助産学 [1] 助産学概論 (医学書院)
助産学講座5 助産診断・技術学 I (医学書院) 助産学講座10 助産管理 (医学書院)
新版 助産師業務要覧 1 基礎編 (日本看護協会出版会)
新版 助産師業務要覧 2 実践編 (日本看護協会出版会)
わが国の母子保健 (母子衛生研究会)

参考図書

国民衛生の動向 (厚生統計協会) 母子保健の主なる統計 (母子保健事業団)

評価方法

終講時 客観式テスト (90点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|-------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 助産学概論 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (2 / 15) | 授業回数 | 1 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

助産の概念や母子保健の動向を学び、助産師の職務について理解する。

授業目標

1. 助産学を支える哲学と理論について理解する。
2. プライマル・ヘルスとホリスティック医学の知識を得る。

授業内容

1. 助産学を支える哲学
 - 1) ソクラテスの産婆術・タオイズム
2. 助産学を支える理論と研究
 - 1) 助産学を構成する理論
 - (1) 助産実践を支える理論とはなにか
 - (2) 助産学における対象を理解するための理論
 - (3) 助産学に関連する学問領域と探究方法

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座1 基礎助産学 [1] 助産学概論 (医学書院)

参考図書

プライマル・ヘルス (メディカ出版)
 レポート・論文の書き方 (金芳堂)
 ケアの本質 (ゆみる出版)
 ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

評価方法

終講時 レポート (10 点)

| | | | | | |
|---------------|----------------|------|---------------------------------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 性と生殖の基礎科学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (6/ 30) | 授業回数 | 3回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 教員 | 講師所属 | 福岡水巻看護助産学校 | | |
| 特記事項 | 実務経験のある教員による科目 | | 臨床 (病院) での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう | | |

科目目標

性と生殖及び性に関する基礎的な機能を理解する

授業目標

1. 生殖の形態と機能を理解する。

授業内容

1. リプロダクションに関する解剖・生理
 - 1) 母性の身体的特徴
 - 2) 生殖生理に関する視床下部一下垂体系機能
 - 3) 卵巣機能
 - 4) 妊娠成立の機序
 - 5) 胎児胎盤機能
 - 6) 乳房の構造と乳汁分泌

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 (医学書院)
病気がみえる⑨婦人科・乳腺外科 (MEDIC MEDIA)

参考図書

プライマル・ヘルス (メディカ出版)

評価方法

終講時 客観式テスト (20点)

| | | | | | |
|--------------|----------|------|-----------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 性と生殖の基礎科学 | | |
| 単位（授業時間/時間数） | 1（10/30） | 授業回数 | 5回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

性と生殖及び性に関する基礎的な機能を理解する

授業目標

1. 性感染症について理解する。
2. 女性のライフサイクル各期における主な疾患について理解する。
3. リプロダクションに関する検査について理解する。

授業内容

1. 性感染症総論
 - 1) ウイルス感染症
 - 2) クラミジア感染症、淋菌・梅毒、真菌症、原虫症、寄生虫症
2. 女性のライフサイクル各期に起きる主な疾患
 - 1) 小児期の疾患（性分化異常）
 - 2) 思春期の疾患（月経異常・月経困難症等）
 - 3) 成熟期の疾患（月経異常、生殖器の腫瘍、子宮内膜症、乳房疾患）
 - 4) 更年期の疾患（更年期障害）
 - 5) 老年期の疾患
3. リプロダクションに関する検査
 - 1) 不妊治療の検査・妊娠後の検査
 - 2) ME機器と超音波診断

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学（医学書院）
標準産科婦人科学（医学書院）

評価方法

終講時 客観式テスト（35点）

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|-----------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 性と生殖の基礎科学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (8 / 30) | 授業回数 | 4 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

生と生殖及び性に関する基礎的な機能を理解する

授業目標

1. 遺伝と遺伝性疾患について理解する。
2. 母子と免疫について理解する。
3. 母子と感染について理解する。

授業内容

1. 遺伝と遺伝性疾患
 - 1) 遺伝医学の重要性
 - 2) 染色体
 - 3) 遺伝子
 - 4) 遺伝性疾患の分類
 - 5) 出生前診断
 - 6) 助産師と遺伝カウンセリング

2. 母子と免疫
 - 1) 免疫学概論
 - 2) 母体の免疫学的特性
 - 3) 胎児の免疫学的特性
 - 4) 新生児の免疫学的特性

3. 母子と感染
 - 1) 母子感染の重要性
 - 2) 母子感染の機序
 - 3) 母子感染総論

4. 母子感染各論

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 (医学書院)
標準産科婦人科学 (医学書院)

評価方法

終講時 客観式テスト (25 点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|-----------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 性と生殖の基礎科学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (4 / 30) | 授業回数 | 2回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

生と生殖及び性に関する基礎的な機能を理解する

授業目標

1. 性の行動と機能について理解する。
2. 不妊症の診断について理解する。
3. 生殖補助医療について理解する。

授業内容

1. 性の行動と機能
 - 1) 性の分化と発達
 - 2) 性交と性反応
 - 3) 性機能不全 (性別不合) と性別違和

2. 妊娠の成立と不妊

3. 生殖補助医療
 - 1) 生殖補助医療の実際
 - 2) 生殖補助医療の問題点
 - 3) 不妊症・不育症への支援

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 2 基礎助産学 [2] 母子の基礎科学 (医学書院)

参考図書

助産学講座 4 基礎助産学 [4] 母子の心理・社会学 (医学書院)

助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期 (医学書院)

病気がみえる⑨ 婦人科・乳腺外科 (MEDIC MEDIA)

病気がみえる⑩ 産科 (MEDIC MEDIA)

標準産科婦人科学 (医学書院)

評価方法

終講時 客観式テスト (20点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|-----------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 性と生殖の健康科学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (4 / 30) | 授業回数 | 2 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

母子と補完代替医療(アロマセラピー)の心身に及ぼす影響と実際を理解する。

授業内容

1. アロマセラピーの概要
 - 1) アロマセラピーとは
 - 2) 作用機序
 - 3) 精油の作用・副作用
 - 4) 精油の性質
 - 5) 精油の使用量
 - 6) 精油の使用法
2. 産科領域での取り組み
 - 1) 産科でのアロマセラピーの目的
 - 2) 臨床現場におけるアロマセラピーの注意点
 - 3) 具体的な取り組みの内容
 - 4) 症例

授業の進め方

講義 実技

教科書

助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)

参考図書

ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)
 Mothewell Maternity Fitness Plan (Human Kinetics)

評価方法

出席と講義・演習の参加状況及びレポート評価 (5 点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|-----------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 性と生殖の健康科学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (6 / 30) | 授業回数 | 3 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

母子の食と栄養について理解する。

授業内容

1. 母子と栄養
 - 1) 母子の健康と食生活
 - 2) 妊婦の栄養
 - 3) 授乳婦の栄養
 - 4) 乳幼児の栄養
 - 5) 学童・思春期の子どもの栄養

2. 母子と嗜好品
 - 1) タバコ
 - 2) アルコール

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)

参考図書

食品成分表 (女子栄養大学出版部)
 新谷弘実著 胃腸は語る (弘文堂)
 病気にならない生き方 (サンマーク出版)
 その他、安保徹著書
 ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

評価方法

終講後 客観式テスト (30 点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|-----------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 性と生殖の健康科学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (4 / 30) | 授業回数 | 2 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

母子に影響を与える薬剤について理解する。

授業内容

1. 母子と嗜好品・薬物
 - 1) 依存性薬物

2. 周産期に用いる薬物
 - 1) 妊娠診断薬
 - 2) 妊娠・分娩・産褥期における薬剤投与の原則
 - 3) 妊娠期に使用する薬剤
 - 4) 分娩期に使用する薬物
 - 5) 産褥期に使用する薬物
 - 6) 授乳と薬物

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)
 助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期 (医学書院)
 病気がみえる⑩ 産科(MEDIC MEDIA)

参考図書

ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

評価方法

終講時 客観式テスト (20 点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|-----------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 性と生殖の健康科学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (2 / 30) | 授業回数 | 1 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

母子の口腔衛生について理解する。

授業内容

1. 母子の歯科保健
 - 1) 歯、口腔の発育・発達と母子の歯科保健
 - (1) 歯、口腔の発生・発育とその異常
 - (2) 摂食と口腔機能の発達
 - (3) 乳幼児の齲蝕
 - (4) 妊婦・産後の歯科保健

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)

参考図書

内野博行著 こどもの歯を「治療・矯正」する前に (ジャパンマニスト育児新書)
 ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

評価方法

出席と講義参加状況で評価する。

| | | | | | |
|---------------|------------|------|-----------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 性と生殖の健康科学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (4/30) | 授業回数 | 2回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

母子の癒しとして、補完代替医療（鍼灸）の知識と技術を学ぶ

授業内容

1. 東洋医学と鍼灸医学
2. 鍼灸医学の特色
3. 鍼灸における治療手段と治療方針
4. 東洋医学と女性のからだ
5. 東洋医学の病因論
6. 鍼灸医学における治療原則
7. 助産技術に応用する鍼灸（ツボ）療法
 - 1) つわり
 - 2) 骨盤位
 - 3) 和痛分娩
 - 4) 乳汁分泌不全
 - 5) 腰痛
8. 演習
 - 1) 経穴の探し方
 - 2) 鍼灸の実際

授業の進め方

講義 実技

教科書

助産学講座3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)

参考図書

ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

Mothewell Maternity Fitness Plan (Human Kinetics)

評価方法

出席と講義・演習の参加状況及びレポート評価 (5点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|-----------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 性と生殖の健康科学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (8 / 30) | 授業回数 | 4 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

妊産婦の運動生理学について理解する。

授業内容

1. 母子と運動

1) 妊産婦の運動生理学

- (1) 妊婦のスポーツの目的
- (2) 妊婦のスポーツの問題点
- (3) 運動に対する母体の反応
- (4) 運動による胎児の反応
- (5) 妊婦のスポーツのガイドライン

2) 妊産婦の運動の実際

- (1) 運動の考え方
- (2) 身体活動とメッツ
- (3) エクササイズの種類
- (4) エクササイズ時の基本姿勢
- (5) ストレッチとエクササイズの実際
- (6) 集団実技指導の実際
- (7) 妊婦スポーツの種類

授業の進め方

講義 実技

教科書

助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)

参考図書

ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

Mothewell Maternity Fitness Plan (Human Kinetics)

評価方法

終講時 客観式テスト (40 点)

| | | | | | |
|---------------|---------------|------|--------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 助産に関する心理・社会学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (26 / 30) | 授業回数 | 13 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

女性のライフサイクルにおける心理・家族社会について理解する。

授業目標

1. 女性のライフサイクルにおける心理について理解する。
2. 社会における子育て支援について理解する。
3. 親 - 子関係の問題について理解する。
4. 父母をとりまく社会について理解する。

授業内容

1. 女性のライフサイクルにおける心理・社会的課題
 - 1) 女性のライフサイクルにおける心理・社会的課題
 - 2) 思春期・青年期女性の発達と心理・社会的課題
 - 3) 成人初期・中期女性の発達と心理・社会的課題
 - 4) 更年期・老年期女性の発達と心理・社会的課題
2. 家族関係の発達と課題
 - 1) 母子関係の形成と課題
 - 2) 父子関係の形成と課題
 - 3) 夫婦関係と子どもの発達
 - 4) 家族・地域のネットワークと子ども・親の心理的な発達と適応
3. 母親・父親と社会
 - 1) 母親と社会
 - 2) 父親と社会
4. 子どもと社会
 - 1) 社会のなかの子ども
 - 2) 現代日本の子育て支援
 - 3) 世界の子育て支援

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 4 基礎助産学 [4] 母子の心理・社会学 (医学書院)

参考図書

木村俊則編：事例で読み解く周産期メンタルヘルスケアの理論 (医学書院)

柏木恵子編著：父親の発達心理学 (川島書店)

岡本祐子、深瀬裕子編著：エピソードでつかむ生涯発達心理学 (ミネルヴァ書房)

評価方法

終講時 客観式テスト (100 点)

| | | | | | |
|---------------|-------------|------|--------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 助産に関する心理・社会学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (2/ 30) | 授業回数 | 1 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

女性のライフサイクルにおける心理・家族社会について理解する。

授業目標

夫婦間暴力と児童虐待を知り、専門者としての対応知識を持つ。

授業内容

1. 夫婦間暴力とは
2. 恋人同士の暴力とは
3. 児童虐待とは

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 4 基礎助産学 [4] 母子の心理・社会学 (医学書院)

参考図書

評価方法

出席および講義参加状況により評価

| | | | | | |
|---------------|----------------|------|---------------------------------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 妊娠・分娩・産褥の生理と病態 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 2 (10 / 45) | 授業回数 | 5回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 教員 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | 実務経験のある教員による科目 | | 臨床 (病院) での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう | | |

科目目標

妊娠・分娩・産褥の生理と病態について理解する。

授業目標

1. 妊娠の生理を理解する。

授業内容

1. 妊娠の生理
 - 1) 妊娠とそれに伴う母体の変化
 - 2) 胎児の発育と胎児付属物
2. 妊娠期の助産診断
 - 1) 妊婦と家族の心理・社会的側面の診断
 - (1) 妊娠・家族の心理・社会的側面の診断
 - (2) 妊婦・家族の社会的側面の診断

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期 (医学書院)
助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア (日本看護協会出版会)
病気がみえる⑩産科 (MEDIC MEDIA)
胎児心拍数モニタリング講座 (メディカ出版)

参考図書

プリンシプル産科学 1・2 (MEDICAL VIEW)
プライマル・ヘルス (メディカ出版)
今日の助産 (南江堂)
標準産科婦人科学 (医学書院)

評価方法

終講時 客観式テスト (15点)

| | | | | | |
|---------------|---------------|------|----------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 妊娠・分娩・産褥の生理と病態 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 2 (10 / 45) | 授業回数 | 5回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

妊娠・分娩・産褥の生理と病態について理解する。

授業目標

1. 分娩の生理を理解する。
2. 産褥の生理を理解する。

授業内容

1. 分娩の生理
 - 1) 分娩に関する定義と種類
 - 2) 分娩の3要素
 - 3) 分娩が母体および胎児に及ぼす影響
2. 分娩期の心理社会的変化
 - 1) 産婦の心理・社会的変化
 - 2) 産婦の日常生活行動の充足と適応
 - 3) 家族の心理・社会的変化
3. 産褥期の生理
 - 1) 産褥期の全身の変化と特徴
 - 2) 産褥期の局所的な変化と特徴
4. 産褥期の助産診断
 - 1) 褥婦の心理・社会的変化

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期 (医学書院)
 病気がみえる⑩産科 (MEDIC MEDIA)
 胎児心拍数モニタリング講座 (メディカ出版)

参考図書

助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア (日本看護協会出版会)
 プリンシプル産科学 1・2 (MEDICAL VIEW)
 プライマル・ヘルス (メディカ出版)
 今日の助産 (南江堂)
 標準産科婦人科学 (医学書院)

評価方法

終講時 客観式テスト (15点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|----------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 妊娠・分娩・産褥の生理と病態 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 2 (22/ 45) | 授業回数 | 11 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

妊娠・分娩・産褥の生理と病態について理解する。

授業目標

1. 妊娠期におこる異常について理解する。
2. 分娩期におこる異常や偶発疾患について理解する。
3. 産褥期におこる異常や偶発疾患について理解する。
4. 産科手術および産科的医療処置について理解する。

授業内容

1. 妊娠期の異常・ハイリスク妊娠 (金城先生・桑鶴先生)
 - 1) 妊娠期の異常
 - 2) ハイリスク妊娠
2. 分娩期の異常・偶発疾患 (内村先生)
 - 1) 分娩の3要素の異常
 - 2) 分娩に伴う損傷・偶発疾患・合併症
3. 産褥期の異常・偶発疾患 (金城先生)
 - 1) 産褥期におこる身体的な問題
 - 2) 産褥期におこる精神的な問題
4. 妊娠期・分娩期・産褥期における検査 (桑鶴先生)
5. 産科手術および産科的医療処置 (内村先生)
 - 1) 産科手術の準備
 - 2) 産科手術の各論
 - 3) 産科麻酔
 - 4) 救急処置

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期 (医学書院)
助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期 (医学書院)
標準産科婦人科学 (医学書院) 病気がみえる⑩産科 (MEDIC MEDIA)
胎児心拍数モニタリング講座 (メディカ出版)
周産期超音波の見かた 改訂2版 (メディカ出版)

参考図書

プリンシプル産科学 1・2 (MEDICAL VIEW)

評価方法

終講時 客観式テスト (60点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|----------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 妊娠・分娩・産褥の生理と病態 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 2 (2 / 45) | 授業回数 | 1 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

妊娠・分娩・産褥の生理と病態について理解する。

授業目標

1. 不妊治療後の経過を理解する。

授業内容

1. 個別相談場面におけるアプローチ
 - 1) 不妊相談
 - 2) 遺伝相談・遺伝カウンセリング

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 4-5 助産診断・技術学 I (医学書院)

参考図書

助産学講座 6 助産診断・技術学 II [1] 妊娠期 (医学書院)

プリンシプル産科学 1・2 (MEDICAL VIEW)

病気がみえる⑨婦人科・乳腺外科 (MEDIC MEDIA)

標準産科婦人科学 (医学書院)

評価方法

終講時 客観式テスト (10 点)

| | | | | | |
|---------------|-------------|------|---------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 新生児・乳幼児の生理と病態 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (2 / 30) | 授業回数 | 1 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

新生児・乳幼児の生理と病態について理解する。

授業目標

1. 新生児の生理的特徴を理解する。
2. 乳幼児の適応生理について理解する。

授業内容

1. 新生児の適応生理
 - 1) 新生児の生理と特徴
 - 2) 新生児の適応生理

呼吸器系、循環器系、体温調節、肝機能、消化器系、
水分・電解質バランス及び腎機能、免疫系、行動と感覚器系、
内分泌・代謝系、血液系

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期 (医学書院)
新生児学入門 (医学書院)

参考図書

NICU マニュアル (金原出版)
母子臨床と世代間伝達 (金剛出版)
オキシトシン (晶文社)
人生の基盤は妊娠中から3歳までに決まる (東洋経済新報社)

評価方法

終講後 客観式テスト (10点)

| | | | | | |
|---------------|-------------|------|---------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 新生児・乳幼児の生理と病態 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (2/ 30) | 授業回数 | 1回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

新生児・乳幼児の生理と病態について理解する。

授業目標

1. 正常からの逸脱・異常症状を理解する。
2. 新生児・早産・低出生体重児の疾患について理解する。

授業内容

1. 新生児・早産・低出生体重児の異常と疾患
 - 1) 正常からの逸脱・異常症状
嘔吐、腹部膨満、吐血・下血、黄疸
 - 2) 新生児・早産・低出生体重児の疾患と主な治療
新生児低血糖症、敗血症、低カルシウム血症、未熟児骨減少症
高ビリルビン血症、核黄疸、新生児メレナ、新生児ビタミン K 欠乏症
機能的腸閉塞、機能的腸閉塞、感染症
治療：光線療法・経管栄養

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期 (医学書院)
新生児学入門 (医学書院)

参考図書

NICU マニュアル (金原出版)
母子臨床と世代間伝達 (金剛出版)
オキシトシン (晶文社)
人生の基盤は妊娠中から3歳までに決まる (東洋経済新報社)

評価方法

終講後 客観式テスト (10点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|---------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 新生児・乳幼児の生理と病態 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (4 / 30) | 授業回数 | 2回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

新生児・乳幼児の生理と病態について理解する。

授業目標

1. 正常からの逸脱・異常症状を理解する。
2. 新生児・早産・低出生体重児の疾患について理解する。

授業内容

1. 新生児・早産・低出生体重児の異常と疾患
 - 1) 正常からの逸脱・異常症状 (疾患に関連させながら学びます)
 - ・呼吸障害、無呼吸発作、チアノーゼ、心雑音、肺雑音
 - ・発熱、低体温 心不全、けいれん、麻痺、頭血腫
 - 2) 新生児・早産・低出生体重児の疾患と主な治療
 - ・呼吸器疾患：呼吸窮迫症候群、新生児一過性多呼吸、胎便吸引症候群、慢性肺疾患、気胸/縦隔気腫、無呼吸発作
治療：呼吸管理
 - ・循環器疾患：動脈管開存症、未熟児動脈管開存症、新生児遷延性肺高血圧症、先天性心疾患、
 - ・中枢神経系疾患：脳室内出血、脳室周囲白軟化症、低酸素性虚血性脳症、
 - ・分娩損傷：頭血腫、帽状権膜下出血、神経損傷、骨損傷

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期 (医学書院)
 助産師基礎教育テキスト7 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア
 新生児学入門 (医学書院)
 お母さんがもっと元気になる乳児健診 (メディカ出版)

参考図書

NICU マニュアル (金原出版)
 母子臨床と世代間伝達 (金剛出版)
 オキシトシン (晶文社)
 人生の基盤は妊娠中から3歳までに決まる (東洋経済新報社)

評価方法

終講後 客観式テスト (20点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|---------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 新生児・乳幼児の生理と病態 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (4 / 30) | 授業回数 | 2 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

新生児・乳幼児の生理と病態について理解する。

授業目標

1. 乳幼児の生理および成長と発達について理解する。
2. 乳幼児の疾患について理解する。

授業内容

1. 乳幼児の生理および成長と発達
 - 1) 乳児健診の基本
 - 2) 退院時健康診査
 - 3) キーエイジによる乳児健診
身体的特徴、生理的特徴
 - 4) 予後…成長・発達、後遺症、死亡率

2. 乳幼児におこりやすい疾患
 - 1) 感染症と予防接種
突発性発疹、百日咳、水痘、流行性耳下腺炎、RSウイルス、カンジダ、
鷲口瘡、SSSS、乳幼児下痢症
 - 2) アレルギー疾患
 - 3) 乳幼児突然死症候群
 - 4) 被虐待児症候群
 - 5) 発育性股関節形成不全
 - 6) 発達障害
 - 7) 先天性代謝異常

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期 (医学書院)
 新生児学入門 (医学書院)
 新版 お母さんがもっと元気になる乳児健診 (メディカ出版)

参考図書

NICU マニュアル (金原出版)
 母子臨床と世代間伝達 (金剛出版)
 オキシトシン (晶文社)
 人生の基盤は妊娠中から3歳までに決まる (東洋経済新報社)

評価方法

終講後 客観式テスト (20点)

| | | | | | |
|---------------|----------------|------|---------------------------------------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 新生児・乳幼児の生理と病態 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (18/ 30) | 授業回数 | 9回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 専任教員 | 講師所属 | 福岡水巻看護助産学校 | | |
| 特記事項 | 実務経験のある教員による科目 | | 臨床 (病院) での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう | | |

科目目標

新生児・乳幼児の生理と病態について理解する。

授業目標

1. 新生児の生理的特徴を理解する。
2. 乳幼児の生理および成長と発達について理解する。
3. 新生児の疾患について理解する。
4. 乳幼児の疾患について理解する。

授業内容

1. 新生児学総論
2. 発育・発達評価
3. 新生児医療における生命倫理
4. 新生児擁護と管理 (出生直後の児のケア、検査)
5. 母子関係と家族の支援 (母子早期接触の実際)
6. 母子と生活環境
7. 医療事故と医原性疾患
8. 災害と新生児医療

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期 (医学書院)
 助産師基礎教育テキスト7 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア (日本看護協会出版会)
 新生児学入門 (医学書院)
 お母さんがもっと元気になる乳児健診 (メディカ出版)
 写真で分かる助産技術 アドバンス

参考図書

NICU マニュアル (金原出版)
 人生の基盤は妊娠中から3歳までに決まる (東洋経済新報社)
 小児看護学概論・総論 (医学書院)
 小児の発達と看護 (ナーシンググラフィカ)

評価方法

終講後 客観式テスト (40点)

| | | | | | |
|---------------|---------------|------|-------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 国際助産学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (12 / 15) | 授業回数 | 6回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

諸外国の助産について理解する。

授業目標

1. 諸外国の助産に関する文化や教育について理解する。
2. 国際化時代の助産師の役割について理解する。

授業内容

1. 諸外国の助産の変遷
2. 助産の文化論
3. 諸外国における助産師教育
4. 国際化時代の母子保健
5. 国際協力活動の実際

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座1 基礎助産学 [1] 助産学概論 (医学書院)
助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 (医学書院)

参考図書

新助産学 (メディカ出版)
生まれ変わる助産婦たち (医学書院)

評価方法

終講時 レポート (100点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|-------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 国際助産学 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (2 / 15) | 授業回数 | 1 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

諸外国の助産について理解する。

授業目標

1. 医師不在の場における医療処置を理解する。

授業内容

1. 産科手術
 - 1) 会陰切開・縫合術
 - 2) 骨盤位娩出術・骨盤位牽出術

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期 (医学書院)
 新訂版 写真でわかる助産技術アドバンス (Web 動画付) (インターメディカ)
 正常分娩の助産術 (医学書院)

参考図書

評価方法

出席と講義参加状況で評価する。

| | | | | | |
|---------------|---------------|------|-------|------|----|
| 領域 | 基礎助産学 | 授業科目 | 助産学研究 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (28 / 30) | 授業回数 | 14 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

助産学における研究について理解する。

授業目標

1. 助産学研究の目的と意義を理解する。
2. 研究を進める方法を理解する。

授業内容

1. 研究と助産師
 - 1) 助産学における研究
 - (1) 助産学と研究
 - (2) Evidence-Based Practice (EBP)
 - (3) 助産学と EBP
 - 2) 助産学研究の実際
 - (1) 研究方法
 - (2) 研究デザイン
 - (3) 文献検討

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座 1 基礎助産学 [1] 助産学概論 (医学書院)

参考図書

黒田裕子の助産学研究 step by step (学研)
看護研究 原理と方法 (医学書院)
新助産学 (メディカ出版)

評価方法

終講時 研究論文にて評価 (100 点)

| | | | | | |
|--------------|----------------|------|-------------------------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程・技術学Ⅰ（妊娠期・胎児期） | | |
| 単位（授業時間/時間数） | 2（36/45） | 授業回数 | 18回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 専任教員 | 講師所属 | 福岡水巻看護助産学校 | | |
| 特記事項 | 実務経験のある教員による科目 | | 臨床（病院）での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう | | |

科目目標

妊娠期の経過診断の技法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

1. 妊婦の健康診査に必要な技術を習得する。
2. 妊娠期の保健指導のポイントが理解できる。
3. ハイリスク・異常妊婦に対する支援について理解する。

授業内容

1. 妊娠期の助産診断
 - 1) 妊娠期の助産診断の特徴と診断類型
 - 2) 妊娠期のフィジカルアセスメント
 - 3) 日常生活行動の診断
2. 妊婦への支援
 - 1) 健康生活の診断と保健指導
 - 2) 日常生活適応へのケア
 - 3) 心理・社会的支援
3. ハイリスク妊娠・異常妊娠の妊婦のアセスメントと支援
 - 1) ハイリスク妊娠・異常妊娠のアセスメント
 - 2) ハイリスク妊娠・異常妊娠の妊婦の支援

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期（医学書院）
 助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア（日本看護協会出版会）
 助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア（日本看護協会出版会）
 今日の助産（南江堂） 実践 マタニティ診断（医学書院） マタニティ診断ガイドブック（医学書院）
 胎児心拍数モニタリング講座（メディカ出版） 写真でわかる助産技術（インターメディカ）
 周産期超音波のみかた（メディカ出版） 病気がみえる⑩産科（MEDIC MEDIA）

参考図書

標準産科婦人科学（医学書院）
 プライマル・ヘルス（メディカ出版）
 心により添う助産術実践テキスト（メディカ出版）
 助産師のためのフィジカルケア・ミネーション（医学書院）

評価方法

終講時 客観式テスト（100点）

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|----------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程・技術学 I (妊娠期・胎児期) | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 2 (4 / 45) | 授業回数 | 2 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | | | | | |

科目目標

妊娠期の経過診断の技法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

1. 出産前準備教育のポイントが理解できる。

授業内容

1. 特定の教育場面におけるアプローチ
 - 1) 出産準備教育
 - (1) 母親学級
 - (2) 現代における出産準備教育の重要性
 - (3) 出産準備教育の規模
 - (4) 出産準備教育のクラスとプログラムの例

授業の進め方

演習

教科書

- 助産学講座 5 助産診断・技術学 I (医学書院)
 助産学講座 6 助産診断・技術学 II [1] 妊娠期 (医学書院)

参考図書

- 助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア (日本看護協会出版会)
 産む力の咲かせ方 (メディカ出版)

評価方法

出席および講義参加状況にて評価

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|----------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程・技術学 I (妊娠期・胎児期) | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 2 (4 / 45) | 授業回数 | 2 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

妊娠期の初期検査および経過診断の技法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

子宮がんの病態を理解し、子宮細胞診検査の実際が理解できる。さんぎょう
超音波画像診断の原理及び使い方が理解できる。

授業内容

1. 子宮細胞診検査
 - 1) 子宮頸がん、子宮体がんの病態、検査、治療
 - (1) 細胞診の実際

2. ME 機器と超音波画像診断
 - 1) 超音波検査の実際
 - (1) 超音波とは
 - (2) 超音波断層法の原理
 - (3) 超音波断層装置の使い方
 - (4) 妊娠初期の確認事項
 - (5) 妊娠中期・後期の確認事項

授業の進め方

講義 演習

教科書

病気が見える⑨ 婦人科・乳腺外科
周産期超音波のみかた (メディカ出版)

評価方法

出席および講義参加状況にて評価

| | | | | | |
|--------------|----------------|------|-------------------------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程・技術学Ⅱ（分娩期） | | |
| 単位（授業時間/時間数） | 2（40/45） | 授業回数 | 20回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 専任教員 | 講師所属 | 福岡水巻看護助産学校 | | |
| 特記事項 | 実務経験のある教員による科目 | | 臨床（病院）での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう | | |

科目目標

分娩期の経過診断の技法及び正常分娩介助法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

1. 分娩期の助産過程について理解できる。
2. 正常分娩介助技術の方法が理解できる。
3. 産婦の支援の方法が理解できる。
4. 出生直後の新生児のケアについて理解できる。
5. ハイリスク・異常分娩時の支援の方法が理解できる。

授業内容

1. 分娩期の助産診断
 - 1) 分娩期の助産診断の特徴と診断類型
 - 2) 分娩期のフィジカルアセスメント
2. 分娩介助方法
 - 1) 分娩介助の目標と準備
 - 2) 正常分娩介助法の実際
 - 3) 分娩介助時の技術
 - 4) 胎児付属物の検査と計測
3. 産婦の支援
 - 1) 産婦の支援の基本
 - 2) 分娩経過にそったケア
4. ハイリスク・異常分娩時のアセスメントと支援

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期（医学書院）
 助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア（日本看護協会出版会）
 助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア（日本看護協会出版会）
 胎児心拍モニタリング講座（メディカ出版） 正常分娩の助産術（医学書院）
 病気がみえる⑩産科（MEDIC MEDIA） 今日の助産（南江堂） 臨床助産師必携（医学書院）
 写真でわかる助産技術（インターメディカ） WHOの59ヶ条お産のケア実践ガイド（農文協）
 標準産科婦人科学（医学書院） 実践マタニティ診断（医学書院） マタニティ診断ガイドブック（医学書院）

参考図書

アイナ・メイの自然出産ガイド（メディカ出版） ホリスティック医学（日本ホリスティック医学協会）
 レディース鍼灸（医歯薬出版株式会社） 暴力なき出産（アニマ2001） オキシトシン（晶文社）
 プライマル・ヘルス（メディカ出版） 助産ケア臨床ノート 分娩期の母児（医歯薬出版株式会社）
 心により添う助産術実践テキスト（メディカ出版）

評価方法

時間内および終講時 客観式テストおよび技術テスト（100点）

| | | | | | |
|--------------|----------|------|----------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程・技術学Ⅱ（分娩期） | | |
| 単位（授業時間/時間数） | 2（4/45） | 授業回数 | 2回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

分娩期の経過診断の技法及び正常分娩介助法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

1. 正常分娩介助技術の様々な方法が理解できる。

授業内容

1. 様々な分娩介助法
 - 1) フリースタイル分娩の意義
 - 2) フリースタイル分娩の原理と実際
 - (1) 仰臥位分娩
 - (2) 側臥位分娩
 - (3) 四つん這い分娩
 - (4) 座位・蹲踞位分娩

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期（医学書院）
 写真でわかる助産技術（インターメディカ）
 WHOの59ヶ条のお産ケア実践ガイド（農山漁村文化協会）

参考図書

心により添う助産術実践テキスト（メディカ出版）
 暴力なき出産（アニマ2001）
 オキシトシン（晶文社） アイナ・メイの自然出産ガイド（メディカ出版）
 プライマル・ヘルス（メディカ出版） ケアの本質（ゆみる出版）

評価方法

出席および講義参加状況により評価

| | | | | | |
|--------------|----------|------|---------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程・技術学Ⅲ（産褥期・乳房ケア） | | |
| 単位（授業時間/時間数） | 1（16/30） | 授業回数 | 8回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

産褥期の経過診断の技法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

1. 褥婦の健康診査に必要な技術を習得する。
2. 褥婦への支援の方法を理解する。
3. ハイリスク・異常褥婦への支援の方法を理解する。

授業内容

1. 産褥期の助産診断
 - 1) 産褥期の助産診断の特徴と診断類型
 - 2) 産褥期のフィジカルアセスメント
2. 褥婦の支援
 - 1) 退行性変化促進の支援
 - 2) 産後の生活に関する支援
 - (1) 産後の家族計画への支援
3. ハイリスク・異常褥婦のアセスメントと支援
 - 1) ハイリスク・異常因子のアセスメント
 - 2) ハイリスク・異常褥婦への支援

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期（医学書院）
 助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児・乳幼児期のケア（日本看護協会出版会）
 助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア（日本看護協会出版会）
 今日の助産（南江堂） 病気がみえる⑩産科（MEDIC MEDIA）
 受胎調節指導用テキスト（日本家族計画協会）

参考図書

心により添う助産術実践テキスト（メディカ出版）
 レディース鍼灸（医歯薬出版株式会社） 暴力なき出産（アニマ 2001）
 プライマル・ヘルス（メディカ出版） ケアの本質（ゆみる出版）

評価方法

終講時 客観式テスト（60点）

| | | | | | |
|--------------|----------|------|---------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程・技術学Ⅲ（産褥期・乳房ケア） | | |
| 単位（授業時間/時間数） | 1（12/30） | 授業回数 | 6回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

産褥期の経過診断の技法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

1. 乳房の生理を理解する。
2. 乳房ケアの方法を理解する。

授業内容

1. 乳房の生理
 - 1) 乳房の解剖
 - 2) 母乳分泌の生理
 - 3) 母乳吸啜メカニズム
2. 乳房管理
 - 1) 母乳育児の推進
 - (1) 母乳育児推進の歴史
 - (2) 母乳代行用品の国際基準と安全性
 - (3) 母乳育児のための社会資源
 - 2) 正常経過にある褥婦の乳房管理のためのアセスメントとケア
 - (1) ポジショニングとラッチオン
 - (2) 扁平乳頭と陥没乳頭
 - (3) 乳房充満と乳房緊満
 - (4) 母乳分泌促進
 - (5) 母乳分泌過多
 - 3) 健康逸脱・異常状態およびハイリスク状態にある褥婦の乳房管理のためのアセスメントとケア
 - (1) 乳頭痛と乳頭損傷
 - (2) 産褥乳腺炎
 - (3) 乳がんの合併
 - (4) ヒトT細胞白血病ウイルス1型キャリア
 - (5) 母乳代行用品を用いることが許可される医学的適応

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期（医学書院）

参考図書

助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児・乳幼児期のケア（日本看護協会出版会）
 母乳育児支援講座（南山堂） 母乳育児支援業務基準 乳腺炎 2015（日本助産師会出版）
 レディース鍼灸（医歯薬出版株式会社） 暴力なき出産（アニマ 2001）
 赤ちゃんの目で22世紀を考える（同朋社） プライマル・ヘルス（メディカ出版）
 ホリスティック医学（日本ホリスティック医学協会） 桶谷式母乳ですくすく育てる本（主婦の友社）

評価方法

終講時 客観式テスト（40点）

| | | | | | |
|--------------|----------|------|----------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程・技術学Ⅳ（新生児期・乳幼児期） | | |
| 単位（授業時間/時間数） | 1（8/30） | 授業回数 | 4回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

新生児・乳幼児の経過診断の技法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

モデル人形にて新生児の蘇生法を習得する。

授業内容

1. 新生児蘇生法
 - 1) 基本的な新生児蘇生法
 - 2) 気管挿管や薬物などの高度な手技

授業の進め方

講義 演習

教科書

新生児蘇生法テキスト第3版（メジカルビュー社）

参考図書

評価方法

出席および講義参加状況にて評価する

| | | | | | |
|--------------|----------|------|-----------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程・技術学IV（新生児期・乳幼児期） | | |
| 単位（授業時間/時間数） | 1（14/30） | 授業回数 | 7回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

新生児・乳幼児の経過診断の技法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

1. 新生児の観察およびケアについて理解する。
2. 乳幼児の健康診査に必要な技術を習得する。

授業内容

1. 新生児・乳幼児のケアの基本
 - 1) 助産ケアにおける新生児・乳幼児の位置づけ
 - 2) 児の成長・発達と助産ケア
2. 新生児のアセスメントとケア
 - 1) 出生後24時間以内新生児のアセスメントとケア
 - 2) 早期新生児（生後7日目まで）アセスメントとケア
 - 3) 退院から4ヶ月目までの新生児・乳児のアセスメントとケア
3. 乳幼児のアセスメントとケア
 - 1) 乳幼児の成長・発達
 - 2) 乳幼児のアセスメントとケア

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期（医学書院）
助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ〔3〕新生児期・乳幼児期（医学書院）
助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア（日本看護協会出版会）
助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児・乳幼児期のケア（日本看護協会出版会）
助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア（日本看護協会出版会）
新生児学入門（医学書院） 今日の助産（南江堂）
実践 マタニティ診断（医学書院） マタニティ診断ガイドブック（医学書院）
新生児蘇生法テキスト（メジカルビュー社） 病気がみえる⑩産科（MEDIC MEDIA）

参考図書

ホリスティック医学（日本ホリスティック医学協会） NICUマニュアル（金原出版）
赤ちゃんの目で22世紀を考える（同朋社） NICUナースのための必須知識（金芳堂）
プライマル・ヘルス（メディカ出版） ケアの本質（ゆみる出版）

評価方法

終講時 客観式テスト（80点）

| | | | | | |
|--------------|----------|------|----------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程・技術学Ⅳ（新生児期・乳幼児期） | | |
| 単位（授業時間/時間数） | 1（6/30） | 授業回数 | 3回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

新生児・乳幼児の経過診断の技法を習得し、ケアについて理解する。

授業目標

1. ハイリスク新生児のケアについて理解する。

授業内容

1. 新生児の主な疾患とケア
 - 1) 主な治療
 - 2) 治療を受ける新生児のアセスメントとケア
 - (1) 早期発見を目的とした評価と支援
 - (2) 治療を必要とする新生児の評価と支援
 - (3) 治療を受ける新生児の家族の評価と支援
2. 低出生体重児・早産児のケア
 - 1) 低出生体重児・早産児のアセスメントとケア
 - (1) 身体的成長・発達の評価と支援
 - (2) 情緒的成長・発達の評価と支援

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期（医学書院）
新生児学入門（医学書院）

参考図書

NICU マニュアル（金原出版）
NICU ナースのための必須知識（金芳堂）
今日の助産（南江堂）

評価方法

終講時 客観式テスト（20点）

| | | | | | |
|---------------|----------------|------|---------------------------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程方法論 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (6 / 15) | 授業回数 | 3 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 専任教員 | 講師所属 | 福岡水巻看護助産学校 | | |
| 特記事項 | 実務経験のある教員による科目 | | 臨床 (病院) での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう | | |

科目目標

助産過程の展開方法を理解する。

授業目標

助産過程と助産診断について理解できる。

授業内容

1. 助産診断・技術学の概要
 - 1) 助産過程の概要
 - 2) 助産診断学の概要
 - 3) 助産技術学の概要
 - 4) 助産診断学・助産技術学の理論構築に向けて
2. 助産過程の実際
 - 1) 事例を用いた展開の基礎

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期 (医学書院)
助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期 (医学書院)
助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期 (医学書院)
実践 マタニティ診断 (医学書院) マタニティ診断ガイドブック (医学書院)

参考図書

プライマル・ヘルス (メディカ出版) ケアの本質 (ゆみる出版)
ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

評価方法

出席および講義参加状況にて評価

| | | | | | |
|---------------|----------------|------|---------------------------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 助産過程方法論 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (9 / 15) | 授業回数 | 4 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 専任教員 | 講師所属 | 福岡水巻看護助産学校 | | |
| 特記事項 | 実務経験のある教員による科目 | | 臨床 (病院) での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう | | |

科目目標

助産過程の展開方法を理解する。

授業目標

1. 妊娠期・分娩期・産褥期・早期新生児期における助産過程の実際を理解する。

授業内容

1. ペーパーペイシエントによる助産過程の展開
 - 1) 妊娠期 (中期・後期)
 - 2) 分娩期
 - 3) 産褥期
 - 4) 早期新生児期

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅱ
助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期 (医学書院)
助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期 (医学書院)
助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期 (医学書院)
実践 マタニティ診断 (医学書院) マタニティ診断ガイドブック (医学書院)

参考図書

プライマル・ヘルス (メディカ出版) ケアの本質 (ゆみる出版)
ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

評価方法

終講後 演習記録物やレポートにて評価 (100 点)

| | | | | | |
|---------------|----------------|------|---------------------------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 健康教育方法論 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (8/ 30) | 授業回数 | 4 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 専任教員 | 講師所属 | 福岡水巻看護助産学校 | | |
| 特記事項 | 実務経験のある教員による科目 | | 臨床 (病院) での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう | | |

科目目標

健康教育の展開方法を理解する。

授業目標

1. 相談・教育活動の技術について理解する。
2. 健康教育の展開方法が理解できる。

授業内容

1. 相談・教育活動の技術
 - 1) 教育技術
 - 2) 相談技術
 - (1) 個人へのアプローチ
 - (2) 集団へのアプローチ

3. 健康教育
 - 1) 健康教育とは
 - 2) 健康教育の準備・計画、実施、評価

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 5 助産診断・技術学 I (医学書院)

参考図書

家族計画指導の実際 (医学書院) 産む力の咲かせ方 (メディカ出版) ケアの本質 (ゆみる出版)

評価方法

出席および講義参加状況により評価

| | | | | | |
|---------------|----------------|------|---------------------------------------|------|----|
| 領域 | 助産診断・技術学 | 授業科目 | 健康教育方法論 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (22 / 30) | 授業回数 | 11 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 専任教員 | 講師所属 | 福岡水巻看護助産学校 | | |
| 特記事項 | 実務経験のある教員による科目 | | 臨床 (病院) での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう | | |

科目目標

健康教育の展開方法を理解する。

授業目標

1. 個人・集団への指導が実施できる。

授業内容

1. 相談・教育活動の実際
 - 1) 個人へのアプローチ (個別健康教育演習)
 - (1) 妊娠期
 - (2) 分娩期
 - (3) 産褥期
 - (4) 新生児期
 - 2) 集団へのアプローチ
 - (1) マザークラスの実際

授業の進め方

講義 演習

教科書

助産学講座 5 助産診断・技術学 I (医学書院)

参考図書

家族計画指導の実際 (医学書院)
産む力の咲かせ方 (メディカ出版)
マタニティークラス BOOK (医学書院)

評価方法

出席および講義参加状況により評価 (100 点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|--------|------|----|
| 領域 | 地域母子保健 | 授業科目 | 地域母子保健 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 1 (14/ 15) | 授業回数 | 7回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

地域における母子保健活動について理解する。

授業目標

1. 地域母子保健の意義が理解できる。
2. 地域母子保健のしくみが理解できる。
3. 地域母子保健活動の現状が理解できる。

授業内容

1. 地域母子保健の意義
2. 母子保健の現状と動向
3. 地域母子保健行政の体系
 - 1) わが国の母子保健行政
 - 2) わが国のおもな母子保健制度
 - 3) わが国の母子保健施策
4. 地域母子保健活動の基盤
5. 地域母子保健活動の展開
 - 1) 各種母子訪問指導
 - 2) 地域子育て支援活動
 - 3) 災害時の地域母子保健活動
6. 国際化時代の地域母子保健活動

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 (医学書院)

わが国の母子保健 (母子衛生研究会)

参考図書

乳児保育 (エイデル研究所) 母子保健マニュアル (南山堂)

赤ちゃんから学ぶ (サン・ムラタ)

評価方法

終講後 客観式テスト(100点)

| | | | | | |
|---------------|----------------|------|---------------------------------------|------|----|
| 領域 | 助産管理 | 授業科目 | 助産管理 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 2 (10 / 30) | 授業回数 | 5回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 専任教員 | 講師所属 | 福岡水巻看護助産学校 | | |
| 特記事項 | 実務経験のある教員による科目 | | 臨床 (病院) での助産師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう | | |

科目目標

助産における業務管理及び安全管理について理解する。

授業目標

1. 助産管理の基本概念を理解する。
2. 助産業務にかかわる法律について理解する。
3. 院内助産・院内助産院における助産業務管理について理解する。

授業内容

1. 助産管理の基本
 - 1) 管理の基本概念とプロセス
 - 2) 助産管理の概念
 - 3) 助産と医療経済
2. 関係法規と助産師の義務・責任
 - 1) 助産師の定義
 - 2) 助産師の業務と・責任と今後の展望
 - 3) 関係法規
 - 4) 助産師の法的責任と義務
 - 5) 助産師の業務・責務と今後の展望
3. 院内助産・院内助産院の管理

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 1 基礎助産学 [1] 助産学概論 (医学書院)
 助産学講座 10 助産管理 (医学書院)
 新版 助産師業務要覧 1 基礎編 (日本看護協会出版会)
 新版 助産師業務要覧 2 実践編 (日本看護協会出版会)

参考図書

助産業務ガイドライン 2019 (日本助産師会)

評価方法

終講時 客観式テスト (40点)

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|------|------|----|
| 領域 | 助産管理 | 授業科目 | 助産管理 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 2 (2 / 30) | 授業回数 | 1 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

助産における業務管理及び安全管理について理解する。

授業目標

1. 助産外来における業務管理と実際について理解する。

授業内容

1. 助産外来
 - 1) 助産外来の運営
 - 2) 助産外来の目的
 - 3) 助産外来の対象となる妊婦
 - 4) 開設時間
 - 5) 場所
 - 6) 助産外来の PR
 - 7) 助産外来の利用時期
 - 8) 担当助産師の基準
 - 9) 医師の報告基準
 - 10) カルテ管理と実際
 - 11) 助産外来の実際
 - 12) 助産師の役割

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 10 助産管理 (医学書院)

参考図書

助産業務ガイドライン 2019 (日本助産師会)

評価方法

出席および講義参加状況にて評価

| | | | | | |
|---------------|--------------|------|------|------|----|
| 領域 | 助産管理 | 授業科目 | 助産管理 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 2 (8 / 30) | 授業回数 | 4 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

助産における業務管理及び安全管理について理解する。

授業目標

1. 助産所における助産業務管理について理解する。

授業内容

1. 助産所における助産業務管理
 - 1) 助産所とは
 - 2) 助産所の管理に関する法規
 - 3) 助産所の管理・運営
 - 4) 助産所の経営
 - 5) 開業助産師と周産期センターとのオープンシステム

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 10 助産管理 (医学書院)
 新版 助産師業務要覧 1 基礎編 (日本看護協会出版会)
 新版 助産師業務要覧 2 実践編 (日本看護協会出版会)

参考図書

助産業務ガイドライン 2019 (日本助産師会)

評価方法

終講時 客観式テスト (30 点)

| | | | | | |
|---------------|-------------|------|------|------|----|
| 領域 | 助産管理 | 授業科目 | 助産管理 | | |
| 単位 (授業時間/時間数) | 2 (8/ 30) | 授業回数 | 4 回 | 開講時期 | 前期 |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 | | | |
| 特記事項 | — | | — | | |

科目目標

助産における業務管理及び安全管理について理解する。

授業目標

1. 周産期管理システムとリスクマネジメントについて理解する。
2. 病産院における助産業務管理について理解する。
3. N I C Uでの管理システムについて理解できる

授業内容

1. 周産期管理システムとリスクマネジメント
 - 1) 周産期管理システム
 - 2) 周産期の医療事故とリスクマネジメント
 - 3) 周産期管理における母乳育児支援
2. 病産院における助産業務管理
 - 1) 助産業務管理の過程
 - 2) 助産業務管理の方法
 - 3) 産科棟の管理
 - 4) 外来の助産管理
3. 母児分離中におけるリスクマネジメント
 - 1) 光線療法中の母乳育児支援
 - 2) 帝王切開後の母乳育児支援
 - 3) N I C U入院時 (長期分離) の母乳育児支援
4. N I C U管理システム
 - 1) 未熟児療育医療から周産期医療システムへ
 - 2) N I C Uの概要
 - 3) N I C Uでの診療・看護の基本原則
 - 4) N I C Uでの診療・看護上の一般的注意
 - 5) N I C U管理の基本的知識

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 10 助産管理 (医学書院)

参考図書

母乳育児支援講座 (南山堂)

助産業務ガイドライン 2019 (日本助産師会)

評価方法

終講時 客観式テスト (30 点)